

高知憲法速報

192 2009.4.3

発行：高知憲法会議事務局 088-872-3406

編集人 事務局 徳弘嘉孝

憲法会議(中央)第44回全国総会 3・29

中央憲法会議総会が3月29日東京で開かれ、20都府県23人、17団体21人、個人7人が参加しました。

隅野隆徳代表委員は開会挨拶で「憲法状況はまさにつばぜりあいにある。年越し派遣村の経験は貴重なもので、労働運動と反貧困の運動、弁護士や司法書士などがつながった。この取り組みを全国に広げよう。9条と25条の結合は大きな意味を持つ」と挨拶しました。大黒作治全労連委員長は中小企業の困難、消費税の問題にふれながら、新しい労働組合の運動、雇用問題での憲法闘争の重要性について述べました。松井繁明自由法曹団団長は自衛隊のソマリア派遣と海賊新法の問題点について報告しました。長谷川英俊事務局長の方針提案の後活発な議論が行われ、決算予算、役員提案とも原案通り承認して閉会しました。

発言から特徴的なものを列挙します。

田母神前航空幕僚長はマスコミにも多く登場し、郡山市では「凱旋講演会」に400人が集まった(福島)。自衛隊での研修には34万人が参加し、子どもたちに暴力を肯定する心情を育てている(歴教協)。厳しい経済状況で子どもたちの学習する権利が脅かされている。入学金・授業料・教育費ホットラインの電話3台には2日間で216件の相談があった(全教)。相談活動などから労組結成が続いている。憲法25条、26条、27条、28条を一体にとらえることが大切だ(全労連)。自衛隊における教育関係図書の見直し基準がある。これは今でも有効だ(内藤功)。ピースナイト9の取り組みの中で若者が自分の言葉で9条への思いを語り、信頼を築いた。若者の気分に沿った取り組みが大切だ(民青)。内藤弁護士の講演会で自衛隊の変貌に驚いた。1月18日の全県統一行動には507人の参加、署名2684筆(和歌山)。3月31日ソマリア問題学習会、5月2日益川敏英さん・瀬戸内寂聴さんで憲法集会、5月16日瀧厚さん講演会などを企画。わかりやすいチラシも必要だ(京都)。橋下知事が私立高校生に自己責任論で話したところ、その高校生は「憲法26条で保障されて

いる」と反論した。このような高校生もいる。ピースチャレンジャーの組織、地域ローラー全戸訪問の署名活動などで成果(大阪)。昨年100万筆を突破、「9の日宣伝」行動で「共同」の輪が広がった。いろんな団体がそれぞれの横断幕を持ち共同している。小さな単位でいくつかの団体が寄り合って運動をつくっている(埼玉)。安心安全条例改正の動きがあり、街頭行動への規制の恐れ等で交渉した。全国に波及する恐れがある(東京)。治安体制の強化、国民の生活思想監視が進む。ビラ配布弾圧は3件裁判係争中(国民救援会)。9条の会の活動原則が大事。イベント主義でないところが永続きしている(川村俊夫)。

高知憲法会議役員会 4月1日

4月1日、代表委員、幹事、監査、事務局の合同会議を開きました。14名の出席で、この間の活動報告、情勢、当面の取り組みについて、報告をもとに討議し、確認しました。当面の取り組みの重点は次の通り。

- ◎憲法署名を発展させる。街頭署名は毎月19日、横断幕、幟などできるだけ目に見えるように工夫する。
- ◎5月3日憲法集会は会場いっぱいの500名をめざして取り組む。海賊問題、ミサイルなど関心の強い内容も盛り込む。
- ◎19名でスタートした講師団を大いに活用する。
- ◎組織と財政強化のために事業活動も検討する。

「輝け日本国憲法！5・3 県民のつどい」

5月3日(日)午前10時～12時 グリーンホール

第1部 日本イラク医療支援ネットワーク スタッフ

大嶋愛さん「イラクの子ども達が輝くとき」

第2部 弁護士 谷脇和仁さん「改憲の動きと平和的生存権 テロ・海賊・ミサイル問題に関わって」

お知らせ；JIM-NETの活動を4月5日(日)午後10：10から10：59までの衛星放送BS1「地球アゴラ」という番組で報道するそうです。大嶋さんが写る可能性もあります。

高知青年会議所主催 憲法問題討論会

日時；5月3日(日)午後1時～3時(開場12時)

場所；春野町文化ホール ピアステージ

内容；5政党(自民、公明、民主、共産、社民)の代表による憲法に関するパネルディスカッション